

1. 年齢階級別退院患者数

<対象期間: 2021/04/01～2022/03/31>

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	3	45	93	213	418	544	916	1371	483	19

【解説】

一般病棟に入院された年齢階級別の退院患者数を示しています。
がんは、40歳以降から徐々に増加し、70歳代が1000人を超えています。

2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位）

<対象期間:2021/04/01~2022/03/31>

* 診療科別に患者数の多いDPC14桁分類について、DPCコード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢について集計しています。

* 患者数が10件以上の場合は、DPCコードの順位で表示しています。

* 患者数が10件未満の場合は-(ハイフン)で表示し、各項目は公開していません。

○消化器内科(診療科コード500)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
胃がんの内視鏡手術	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	73	7.30	7.96	0.00	71.26
結腸がんの内視鏡手術	060035xx03xxxx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	14	5.00	6.78	0.00	70.07
小腸・大腸の良性腫瘍の内視鏡手術	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	14	4.00	2.65	0.00	68.50
直腸がんの内視鏡手術	060040xx04xxxx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	-	-	6.72	-	-
食道がんの内視鏡手術	060010xx02xx0x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)内視鏡的食道粘膜切除術等 定義副傷病なし	-	-	9.22	-	-

【解説】

消化器内科は、食道、胃、大腸(結腸・直腸)と多くの部位で積極的に内視鏡的治療を行っています。患者さんにとって負担の少ない低侵襲な治療を目指しています。

○消化器外科(診療科コード510)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
胃がんの手術	060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	27	19.30	18.34	0.00	69.48
結腸がんの腹腔鏡下手術	060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 定義副傷病なし	36	10.67	15.76	0.00	68.47
直腸がんの腹腔鏡下手術	060040xx02000x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術切除等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	23	10.35	14.92	4.35	62.30
肝臓・肝内胆管がんの肝切除手術(切除範囲が1区域以下)	060050xx02xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)肝切除術 部分切除等	27	15.81	14.93	0.00	68.48
膵臓・脾臓がんの手術	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	49	12.41	11.68	0.00	69.02

【解説】

消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなり、食道、胃、大腸(結腸・直腸)、膵臓、肝臓と幅広いがん治療を行っています。

手術は、患者さんに侵襲の少ない腹腔鏡下手術を多く行っています。食道がん・胃がん・直腸がん治療はロボット支援下でも手術を行っています。

また、大腸がん(結腸・直腸)手術は、全国の平均在院日数と比べて、4~5日早く退院しています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺がんの治療(手術なし)	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	43	12.58	13.12	0.00	74.02
肺がんの組織採取検査	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	41	2.56	3.3	0.00	74.44
肺がんの化学療法	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	30	8.60	9.07	0.00	74.23
肺がんの化学療法かつ有害事象あり	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病あり	16	18.19	14.96	0.00	70.50
肺がんの化学療法 (パクリタキセル及びカルボ プラチンによる治療)	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	16	19.06	19.34	0.00	69.44

【解説】

呼吸器内科は、CTガイド下肺生検等で診断を行い、入院化学療法を多く行っています。

○呼吸器外科(診療科コード160)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺がんの化学療法	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病あり	19	19.05	14.96	0.00	68.95
肺がんの組織採取検査	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	29	2.66	3.3	0.00	68.90
肺がんの手術	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	97	10.27	10.47	0.00	68.06
肺がんの化学療法 (ペメトレキセドナトリウム水 和物による治療)	040040xx99070x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等27あり 定義副傷病なし	-	-	10.28	-	-
間質性肺炎の治療	040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	-	-	18.42	-	-

【解説】

呼吸器外科は、超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法(EBUS-TBNA)やCTガイド下肺生検等で診断を行っています。手術では、原発性肺癌や転移性肺癌に対して胸腔鏡下手術を多く行っています。さらに、ロボット支援下手術も行っています。また、術前化学療法や術後化学療法も行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
腎がんの手術	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	15	11.47	10.63	6.67	70.47
膀胱がんの化学療法	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり 定義副傷病なし	19	11.21	9.65	0.00	75.05
膀胱がんの手術 (内視鏡手術)	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2なし	62	6.11	7.02	0.00	73.19
前立腺がんの組織採取検査	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり	199	2.04	2.5	0.00	70.77
前立腺がんの手術	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	66	10.80	11.63	0.00	69.95

【解説】

泌尿器科は、腎がん・腎盂がん、尿管がん、前立腺がん、膀胱がんと幅広いがん治療を行っています。
前立腺がん治療は、多くの症例が、ロボット支援下で手術を行っています。
膀胱がんの治療は、内視鏡手術が多く、入院化学療法も行っていきます。

○婦人科(診療科コード330)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
子宮頸がん・子宮体がん の化学療法	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	43	4.63	4.34	2.33	60.09
子宮頸がん・子宮体がん の手術	12002xxx97x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	66	7.95	8.8	0.00	51.36
子宮頸がんの切除手術	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等2なし	69	3.03	3.05	0.00	36.86
子宮頸がん・子宮体がん の摘出手術	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	64	10.23	11.55	1.56	60.39
卵巣良性腫瘍の腹腔鏡 下手術	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	44	7.61	6.11	0.00	43.07

【解説】

婦人科は、子宮頸がん・子宮体がんや子宮・卵巣の良性腫瘍に対して腹腔鏡下手術を多く行っています。
ロボット支援下手術も行っています。また、子宮体がんでは、レジメンによりますが、入院化学療法を行っています。

○乳腺外科(診療科コード111)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
乳がんの治療(手術なし)	090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし	10	5.10	9.61	0.00	62.80
乳がんの乳房部分切除術	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	87	4.03	5.88	0.00	60.48
乳がんの乳房切除・部分切除術(腋窩リンパ節郭清含む)	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等1なし	173	7.74	10.15	0.00	57.32
乳がんの化学療法(ペルツスマブによる治療)	090010xx99x8xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等28あり	-	-	4.21	-	-
乳がん脳転移の放射線治療	010010xx9903xx	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23あり	-	-	17.1	-	-

【解説】

乳腺外科は、乳がんに対して手術治療を多く行っています。がんの性質や病期、全身の状態、年齢、併存病の有無などを考慮したうえで、化学療法またはホルモン療法を行い、腫瘍縮小後に手術を行っています。また、遠隔転移を伴った乳がんは、転移巣に対して放射線治療を行っています。

○骨軟部腫瘍・整形外科(診療科コード121)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
小腸がん・腹膜がんの化学療法	060030xx99x30x	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等23あり 定義副傷病なし	31	3.13	6.37	0.00	64.74
軟部良性腫瘍の切除術	070010xx010xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし	55	4.93	5.49	0.00	50.62
骨悪性腫瘍の化学療法	070040xx99x4xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)手術なし 手術・処置等24あり	21	6.48	15.45	0.00	20.24
軟部悪性腫瘍の切除術	070041xx01x00x	軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	22	9.73	17.13	0.00	60.77
骨腫瘍の切除術	180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	44	5.14	6.18	0.00	35.02

【解説】

骨軟部腫瘍・整形外科は、良性・悪性の軟部腫瘍、骨腫瘍に対して積極的に手術を行っています。また、入院化学療法も行っています。

○形成外科(診療科コード130)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
上肢・下肢リンパ浮腫のリンパ管吻合術	070520xx97xxxx	リンパ節、リンパ管の疾患 手術あり	25	8.84	8.63	0.00	59.40
乳がん術後の人工乳房を用いた乳房再建術	090010xx04xxxx	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合等	-	-	8.1	-	-
乳がん術後の有茎皮弁を用いた乳房再建術	090010xx03xxxx	乳房の悪性腫瘍 動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	-	-	15.94	-	-
乳がん術後の遊離皮弁を用いた乳房再建術	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	6.37	-	-
蜂窩織炎の治療	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	-	-	13.07	-	-

【解説】

形成外科は、四肢のリンパ浮腫に対して手術を行っています。リンパ浮腫は、婦人科系の悪性疾患や乳がんの手術時にリンパ節が切除され、それによってリンパ管の機能低下が生じて発症します。
また、乳がん術後の乳房再建術を自家組織や人工乳房を用いて行っています。

○血液内科(診療科コード480)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
急性白血病の化学療法	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等22あり	20	38.10	37.46	0.00	55.65
非ホジキンリンパ腫の治療	130030xx99x0xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2なし	27	5.37	9.15	0.00	71.22
非ホジキンリンパ腫の化学療法 (リツキシマブによる治療)	130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等24あり	15	21.33	10.66	0.00	70.53
非ホジキンリンパ腫の化学療法 (リツキシマブによる治療・G-CSF製剤使用)	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等25あり	14	23.43	19.92	0.00	62.93
非ホジキンリンパ腫の植込型カテーテル設置と化学療法 (リツキシマブによる治療・G-CSF製剤使用)	130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等25あり 定義副傷病なし	42	25.31	31.17	0.00	69.38

【解説】

血液内科は、造血器悪性腫瘍の中でも非ホジキンリンパ腫である「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」が疾患の多くを占め、化学療法を行っています。
また、化学療法を行うために必要なカテーテルを血管内に留置します。

○放射線治療科(診療科コード271)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
甲状腺がんの放射線療法 (I131内用療法)	100020xx99x2xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり	45	3.98	6.1	0.00	63.51
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-

【解説】

放射線治療科は、甲状腺がんの甲状腺全摘後の補助療法や再発・遠隔病変に対する放射線ヨウ素 - 131内用療法を入院にて行っています。その他の放射線治療に関しては、外来通院で多くの症例を行っています。

○頭頸科(診療科コード241)

上位5位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
甲状腺がんの手術	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除(頸部外側区域郭清を伴わないもの)等 手術・処置等1なし	16	9.44	8.19	0.00	51.56
頭頸部がんの手術 (切除再建手術)	03001xxx0110xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	-	-	26.41	-	-
頭頸部がんの手術 (切除手術)	03001xxx0100xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	13.07	-	-
頭頸部がんの化学療法・ 放射線療法	03001xxx97x3xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等23あり	-	-	59.46	-	-
非ホジキンリンパ腫の手術 (リンパ節摘出)	130030xx97x00x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	8.18	-	-

【解説】

頭頸科では、頭頸部がんに対して、手術・化学療法・放射線療法を駆使した集学的治療を行っています。
また、甲状腺がんに対しては手術を行っています。非ホジキンリンパ腫は、診断目的に当科にて組織採取を行っています。

3. 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

<対象期間: 2021/04/01~2022/03/31>

5大癌	初発					再発	病期分類基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	98	6	18	25	0	34	1	8
大腸癌	50	23	57	56	10	79	1	8
乳癌	137	61	32	9	0	25	1	8
肺癌	80	40	46	124	11	154	1	7,8
肝癌	10	6	5	8	0	40	1	8

※ 1:UICC TNM分類 2:癌取り扱い規約

【解説】

5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の病期(ステージ)別、初発患者数を示します。

病期(ステージ)が上がるにつれて癌が進行していることを示しています。

また、「再発」は当センターで初発と診断され、その後再発した患者さんと、他院で初発と診断され再発のため当センターを受診した患者さんを合わせた数となっています。

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数

<対象期間: 2021/04/01~2022/03/31>

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	2	7.50	63.00
中等症	5	11.20	73.60
重症	2	10.00	72.00
超重症	1	18.00	70.00
不明	0	0.00	0.00

【解説】

当センターはがん専門病院のため、肺炎で入院される患者さんは限られています。中等症の患者さんが多く、平均年齢でも最も高い結果となりました。

5. 脳梗塞の患者数

<対象期間:2021/04/01~2022/03/31>

ICD10	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率	転院患者数
I63\$	3日以内と その他	-	-	-	-	-

【解説】

当センターはがん専門病院のため、肺炎と同様、脳梗塞で入院される患者さんは限られています。

6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位）

<対象期間:2021/04/01~2022/03/31>

- * 診療科別に手術件数の多い順に5術式について、患者数、術前日数、術後日数、転院率、平均年齢を集計しています。
- * 患者数が10件以上の場合は、手術術式コード(Kコード)の順位で表示しています。
- * 患者数が10件未満の場合は-(ハイフン)で表示し、各項目は公開していません。

外科

○消化器外科(診療科コード510)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	65	3.49	6.97	0.00	66.80
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	52	3.10	7.69	0.00	68.10
K7321	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	19	1.21	7.21	0.00	67.21
K740-21	腹腔鏡下直腸切除術・切断術 切除術	20	3.90	7.95	5.00	63.90
K740-22	腹腔鏡下直腸切除術・切断術 低位前方切除術	34	2.24	11.91	0.00	65.56

【解説】

消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなります。大腸がん(結腸がん・直腸がん)は、腹腔鏡下にて手術を行っています。大腸がんの中で直腸がん手術では、吻合部の安静・保護、縫合不全予防の目的に人工肛門を造設する場合があります。その後、術後の状態に応じて、人工肛門閉鎖を行っています。また、化学療法を行うために必要なカテーテルを血管内に留置する手術も行っていきます。

○呼吸器外科(診療科コード160)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	11	2.27	10.00	0.00	73.27
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	26	2.35	5.04	0.00	61.46
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	11	2.45	8.18	0.00	68.09
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	44	2.36	7.30	0.00	70.48
K5144	肺悪性腫瘍手術 肺全摘	-	-	-	-	-

【解説】

呼吸器外科は、症例の多くが胸腔鏡下での手術であり、中でも標準的な手術である肺葉切除術を多く行っています。早期がんや肺機能が悪い場合では、できるだけ正常の肺を残す部分切除や区域切除を行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	38	0.26	1.39	0.00	61.50
K8034	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	11	3.09	22.55	0.00	72.55
K8036口	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	65	1.00	4.11	0.00	73.68
K830	精巣摘出術	10	3.80	5.00	0.00	75.60
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	62	1.97	7.47	0.00	69.76

【解説】

泌尿器科は、前立腺がんでは、患者さんの生活の質を可及的に落とさないことに留意し、低侵襲であるロボット支援下前立腺全摘除術を多く行っています。

膀胱がんでは、早期では内視鏡手術が中心となり、局所進行がんでは、標準治療である膀胱全摘尿路変更術を行っています。

○婦人科(診療科コード330)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K867	子宮頸部(腔部)切除術	69	1.01	1.01	0.00	36.77
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	103	2.03	5.33	0.00	51.65
K879	子宮悪性腫瘍手術	33	1.88	8.55	0.00	57.42
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの	44	1.84	4.70	0.00	41.64
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	32	1.78	8.50	0.00	54.38

【解説】

婦人科は、悪性腫瘍(子宮体がんや子宮頸がん)、良性腫瘍(子宮筋腫や卵巣のう腫等)に対して腹腔鏡下手術を多く行っています。

子宮頸がんでは、初期がん(上皮内がん)では妊娠機能を温存した子宮頸部円錐切除術を行っています。

卵巣がんでは、開腹手術が中心となっています。

○乳腺外科(診療科コード111)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	90	1.01	2.14	0.00	60.68
K4763	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	113	1.08	4.71	0.00	58.48
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの	50	1.00	7.80	0.00	54.26
K4764	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む))	-	-	-	-	-
K4742	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル以上	-	-	-	-	-

【解説】

乳腺外科は、多くの症例で腋窩部郭清を伴わない乳房切除・部分切除術を行っています。
乳房全切除術はがんの大きさや広がりにより全乳房の切除が必要な方や、遺伝的素因などで全乳房の切除が必要な方などに行っています。
乳房部分切除術は腫瘍から約1.0cmの正常組織をつけて切除を行っています。

○骨軟部腫瘍・整形外科(診療科コード121)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	78	1.05	2.83	0.00	53.71
K0311	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	29	1.10	8.72	0.00	64.41
K0521	骨腫瘍切除術 肩甲骨、上腕、大腿	14	1.21	3.36	0.00	29.50
K0523	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	14	1.00	4.07	0.00	40.43
K0821	人工関節置換術 肩、股、膝	18	1.56	16.00	0.00	65.61

【解説】

骨軟部腫瘍・整形外科は、良性・悪性の軟部腫瘍に対して手術を多く行っています。
軟部悪性腫瘍では、切除する範囲によって術後に機能障害が生じる可能性があるため、状況に応じた再建手術を行っています。
骨腫瘍では、良性・悪性(転移を含む)に対して手術を行っています。
また、一般整形外科手術である変形性膝関節症や変形性股関節症に対して、人工関節置換術を行っています。

○形成外科(診療科コード130)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K628	リンパ管吻合術	25	1.00	6.84	0.00	59.40
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	-	-	-	-	-
K0171	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 乳房再建術の場合	-	-	-	-	-
K476-32	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	-	-	-	-	-
K0221	組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合	-	-	-	-	-

【解説】

形成外科は、四肢の原発性リンパ浮腫や手術によるリンパ節切除後に生じるリンパ浮腫に対して、リンパ管吻合術を多く行っています。

○頭頸科(診療科コード241)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	15	1.47	47.20	0.00	66.80
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合	-	-	-	-	-
K4633	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘(頸部外側区域郭清を伴わないもの)	-	-	-	-	-
K6261	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	-	-	-	-	-
K425	口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	-	-	-	-	-

【解説】

頭頸科は、頭頸部がんでは、進行がんや再発がんに対して化学療法を行っています。また、そのために必要なカテーテルを、血管内に留置する手術を多く行っています。

内科

○消化器内科(診療科コード500)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	73	1.05	5.25	0.00	71.26
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	11	1.00	2.00	0.00	62.18
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	10	1.10	1.90	0.00	69.90
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	24	1.00	3.00	0.00	68.50
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	-	-	-	-	-

【解説】

消化器内科は、食道がん、胃がん、大腸がん(結腸・直腸)に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行っています。

大腸ポリープ手術では、外来前処置が困難な患者さんに対しては、入院治療を行っています。また、ポリープが大きい場合は、入院治療としています。

○血液内科(診療科コード480)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	47	2.21	21.28	0.00	70.09
K92120	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	-	-	-	-	-
K542	心腔内異物除去術	-	-	-	-	-
K620	下大静脈フィルター留置術	-	-	-	-	-
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-

【解説】

血液内科は化学療法が中心となり、そのために必要なカテーテルを、血管内に留置する手術を多く行っています。

7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症及び手術・術後の合併症の発症率)

<対象期間: 2021/04/01~2022/03/31>

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180010	敗血症	同一	2	0.05
		異なる	0	0.00
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	3	0.07
180040	手術・処置等の合併症	同一	3	0.07
		異なる	0	0.00

【解説】

入院した時の疾患と入院後の最も治療した疾患が同じ場合、入院の契機が「同一」となります。
当センターは、がん専門病院であるため、播種性血管内凝固症候群や敗血症で入院することは少なく、この症状はがんの治療またはがんの進行により生じるものです。
また、手術・処置等の合併症としては、造影剤ショック・後出血・早期発症した吻合部狭窄等があります。